

3月の予算議会と同様、審議は本会議として議員全員で対応。稲山議長、監査委員の原口孝議員を除く全議員が質疑を行いました。活発な質疑応答のうち、各議員の主なものをご紹介します。

平成24年度 決算審議

全議員が問う！



稲山良文議長

歳入 不納欠損処分の理由別内訳は

大久保幸夫

不納欠損額が2年連続で6000万円を越えるものとなっていますが、処分理由別の内訳について伺います。

(答弁)生活困窮によるものが613件(1928万円)、所在不明によるものが107件(460万円)、無財産によるものが523件(3158万円)、そして死亡や倒産などによるものが366件(1148万円)となっています。なお、全体の件数は1609件で、金額は6694万円となっています。

総務費 秩父鉄道乗り入れ検討調査は

真下 昇

県の補助金を活用し、東武東上線が秩父鉄道長瀬駅まで直通乗り入れをすることによる地域の活性化等の調査検討を行ったとありますが、調査結果を伺います。

(答弁)直通電車乗り入れに関し、寄居・長瀬両町の課題・負担と利便性向上による経済効果、また経済効果を生かすための施策について検討調査をしました。

総務費 町の情報発信対策は

鈴木詠子

観光面、防災面での情報発信のニーズも高まる中、町としてどのように取り組んだのか伺います。

(答弁)広報紙、暮らしの便利帳(電子版も作成)の全戸配布。寄居町携帯サイトの随時発信。町公式ホームページは年間450回以上の更新でアクセス数は15万件、平成23年度と比較し約1万件増加しました。さらなる情報発信に努めていきます。

総務費 小規模修繕希望者登録の内訳は

原口 昇

寄居町小規模修繕希望者登録制度による平成24年度登録件数98件の内訳・請負金額の上限があるのか伺います。

(答弁)職業は主に建設関係者が大半です。事業の内容は、防犯灯・小中学校の修繕工事等を行っています。また、請負金額の上限は50万円としています。

民生費 老人クラブの減少傾向の要因は

大久保博幸

超高齢化社会を迎えた今、高齢者の地域での交流の場として、老人クラブの存在意義の重要性が改めて認識されていますが、実態は単位老人クラブが減少しているように見えます。その要因は何か伺います。



議会選出監査委員
原口孝議員

田母神節子議員

大久保博幸議員

坂本建治議員

佐藤理美議員

原口 昇議員

大平久幸議員

岡本安明議員

瀧澤 忍議員

津久井康雄議員

鈴木詠子議員

真下 昇議員

峯岸克明議員

大久保幸夫議員

神田 崇議員